



大野やすし 市政報告

〒343-0806 越谷市宮本町 1-94-3 電話/FAX 048-940-0155
携帯 080-3300-8100 アドレス y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp

協カスタッフ募集中です。

連絡ください!

1 子ども手当 (制度廃止の影響)

(問) 去る8月4日に民主、自民、公明の三党合意により、子ども手当が廃止され、児童手当を基本とする新制度へ移行することになったが、子ども手当受給者世代のやりきれない気持ちを踏まえ、越谷市における制度廃止の影響について伺う。
(答) 市では22年度約61億円、23年度66億円の子ども手当を支給しているが、市の負担額は2カ年とも7億6千万円で、国・県・市の負担割合に大きな変更がないことから市財政への影響は少ないと考えている。24年度以降の所得制限等の詳細は新たな立法を見守りたい。

2 防災対策

(問1) 私も8月5日に福島県でボランティアに参加してきたが、東日本大震災から半年が経過した現在、被災地における経験についてどのように組織の財産として共有・蓄積するかの考えを伺う。
(答1) 被災地へは本市からも人的支援を行っており、期を見て派遣した職員の経験、知識を他の職員へ伝える機会を設定してまいりたい。



(問2) 8月24日、学校耐震化工事中の北越谷、宮本、越ヶ谷、大沢、東越谷の各小学校を会派で行政調査したが、市内の小中学校の耐震化工事の進捗状況について伺う。

(答2) 平成23年度末の耐震化率は89.0%となり、平成24年度には残りの11校、18棟の耐震工事を実施し、完了させる予定である。



(問3) 今後、災害時における、都心での帰宅抑制の方針に対応して、学校における児童・生徒の宿泊訓練や必要な防災用品の備蓄を行うべきと考えますが市の考えを伺う。

(答3) 今回の教訓を踏まえ、地区センターだけでなく、必要最小限の毛布や食料を順次学校に備蓄したい。児童生徒は安全に確実に保護者に引き渡すことを第一としつつ、宿泊訓練についても調査研究していきたい。

3 消防行政

(問1) 救急搬送は、7台の救急車で、年間、約1万2千件を搬送しており、対応能力が限界に達している。搬送の6割は結果的に軽症であり、成人休日夜間診療所を開設する来年度を期に、緊急時に消防と連携して医師や看護師が電話相談に対応する救急相談センターなどの導入を検討してはどうか。



(答1) 真に救急車を必要とする方が救急車を利用できるような市の広報等で普及啓発に努めるとともに、提案の点も踏まえ、軽傷患者の救急車利用の減少に向けて検討を重ねてまいりたい。



(問2) 平成23年度、測量が予算化されている谷中分署の建替え及び訓練施設の整備にあたっては防災や救急救命について総合的に学べる普及啓発施設を併設すべきと考えるが市の考えを伺う。

(答2) 谷中分署は築40年を経過し耐震面でも支障があることから、建替えし、訓練施設とともに消防活動の拠点施設として整備を努めていく。

(問3) 首都圏では防災機能を高めるためにも消防機能の高度化・広域化を進めるべきであり、所沢市を中心とした5市では統合に向け、具体的に緻密な検討がなされている。越谷市においても広域化のメリットを検証すべきと考える。市長の考えを伺う。

(答3) 平成20年3月に県では広域化推進計画が策定され、越谷市を含む第6ブロックでは平成22年度に2回の勉強会を開催し検討したが、単独消防ならではのサービスもある。広域化については慎重に対応してまいりたい。

4 誇りをもてるまちづくり (景観計画)

(問) 平成27年に中核市を目指す本市では24年度に景観計画を策定すべく、近々有識者

による景観形成委員会を設置する予定と聞いているが、景観計画検討にあたっては越谷の景観を積極的につ形成して

いくためには観光的視点、歴史的視点を取り入れ、戦略的に越谷の景観づくりを考えるべきと考えるが、市長の考えを伺う。



(答) 景観づくりにあたっては、河川や水路といった「水郷こしがや」としての特徴を最大限活かしていくべきと考える。歴史的景観については個々の建築物の権利関係など難しい問題があるので、所有者の意向や地区のまちづくりの気運の高まりに応じて、景観計画の中でも調査、検討をしてまいりたい。

☆越谷市議会のHPから、一般質問の録画映像が確認できます。ご覧下さい

議案の概要

- ◎40本の議案はすべて可決。主なものは以下のとおり。
- ◆市税条例等の一部改正
 - ▽寄付金の税額控除の下限額を5000円から2000円に引き下げる。
- ◆市民活動支援センター設置・管理条例の制定
 - ▽越谷駅東口再開発B棟にセンターを設置し、活動室、ロッカー等の使用料を定める。
- ◆越谷市保健所設置審議会条例制定
 - ▽保健所のあり方について、20人以内の委員で調査審議する。
- ◆仮称越谷市障がい児施設建設工事(建築)請負契約締結
 - ▽工事契約を約3億8千万円で一般競争入札の業者と締結(25年4月オープン予定)
- ◆越谷駅東口駐車場設置・管理条例制定
 - ▽越谷駅東口再開発に駐車場を設置し指定管理者に管理させる。

決算審査の概要

- ◆東武伊勢崎線北越谷駅大袋駅間公共下水道築造工事委託協定締結
 - ▽約3億7千万円で東武鉄道に工事(第一期分)を委託
- ◆千間台第一ポンプ場(汚水)改修工事委託協定締結
 - ▽老朽化したポンプ場の更新・耐震化工事について日本下水道事業団に委託
- ◎平成22年度の一般会計・特別会計・病院事業会計の決算について審査・認定した。病院事業会計については6年ぶりに黒字となった。
- ☆決算審査では築30年の「あだたら高原自然少年の家」の改修状況と放射能の影響などについて質問しました。今後のスキー教室や林間学校などでの利用についても気になると思います。